

フランス旅行におすすめ都市4選【パリ以外の魅力もご紹介】



フランスに行ったことはありますか？

行ったことはないけど、気になっている。行きたいけど、遠くて気軽に行けない。
そんな声が聞こえてきそうですね。

そして、フランス旅行と聞いてパリを連想する方も多いのではないのでしょうか。フランスにはパリ以外にもおすすめな都市がたくさん！

今回はフランスの人気都市であるパリ、リヨン、ニース、ストラスブールの魅力と費用についてご紹介します。

おすすめ都市①憧れの街、パリ



華の都とも呼ばれているパリ。

世界的にも有名な都市で知らない人は少ないのではないのでしょうか。

夏に開催されたパリオリンピックも記憶に新しいですね。

ルーブル美術館、エッフェル塔、凱旋門・シャンゼリゼ通り、オペラ座、セーヌ川など、観光地が盛りたくさん。加えて、美味しいスイーツやおしゃれなカフェ、ゴシック様式の美しい街並みもあり、魅力溢れる都市です。

パリの有名な観光スポットを2つご紹介します。

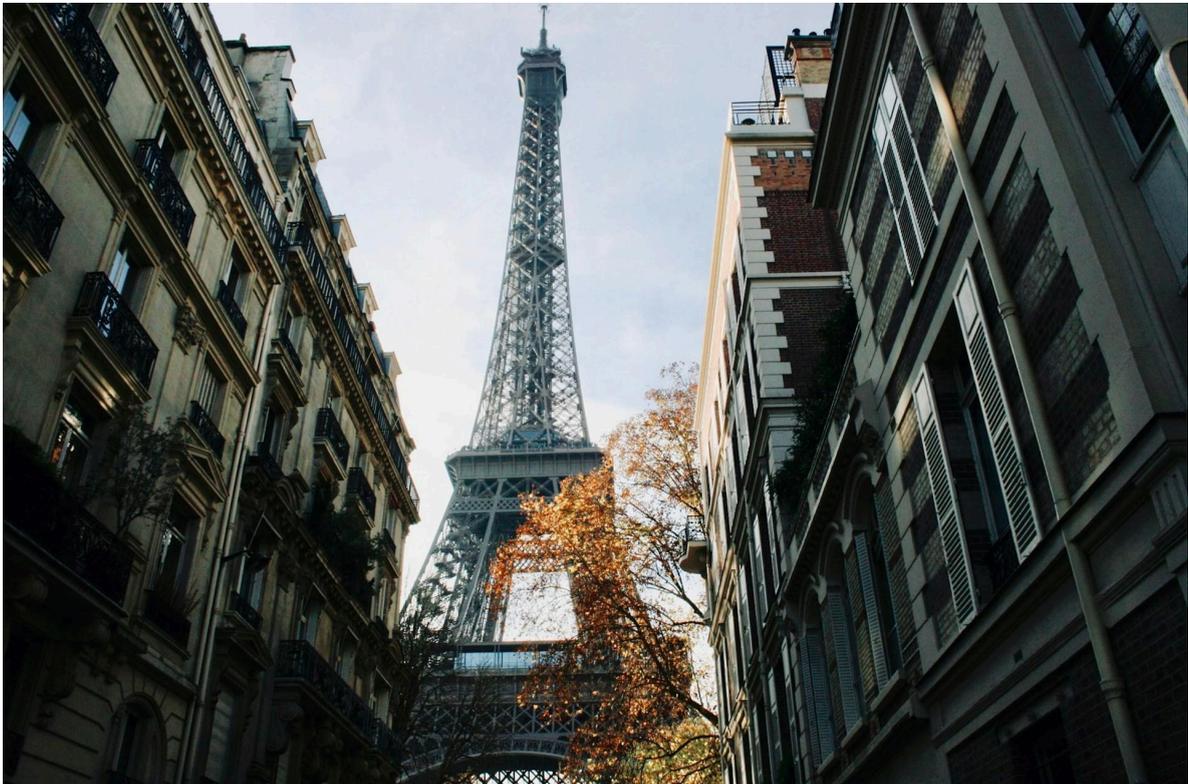
1.ルーブル美術館



ルーブル美術館には、モナリザ、ナポレオンの戴冠式、ミロのヴィーナスなど誰もが知っている作品が多く見どころ満載。館内もとても広いため1日では回りきれません。

事前に見たい作品をピックアップしておいて、効率よく回ることをおすすめします。

2. エッフェル塔



パリのシンボルマークともなっているエッフェル塔。1889年のパリ万博のために造られた塔です。実は東京タ

ワーはエッフェル塔を参考にして建設されました。どことなく似ていますよね。

パリは景観を守るよう建物が建てられています。さまざまな場所から見えるエッフェル塔。お気に入りの写真を撮って旅行の思い出に！

おすすめ都市②美食の街、リヨン



フランス3大都市の1つリヨン。

フランスの南東部にあり、パリからTGVという高速列車に乗って約2時間。

ローマ帝国時代から約2000年の歴史をもつ都市で、世界遺産が多くあります。

1.リヨン旧市街



世界遺産に登録されているリヨン旧市街は、中世の街並みが続きヨーロッパらしさを感じられます。石畳なのでスニーカーなど歩きやすい靴で行くことをおすすめします。

また、旧市街にある観光地のノートルダム大聖堂に行ったり、ソーヌ川沿いをお散歩したりするのも楽しいです。

2.ベルクール広場

リヨンの中心ともいえるベルクール広場も有名です。広場の中央にはルイ14世の像が立ち、リヨン出身の作家サン・テグジュペリにちなんだ「星の王子さま」の像もあります。

大きい広場で、周りにはレストランやカフェ、ショッピングができるお店が多く観光にも便利です。

3.ブション

リヨンは美食の街としても有名。旅行で食べ物は大事ですね。

ブションとは、安くてボリュームなリヨンの伝統的な料理を提供するレストランのことです。ブションに入ればおいしい食事を食べられること間違いなしと言われるほど。

ぜひ、ブション・リヨネ協会の加盟店に行きましょう。伝統を守ろうとするお店が加盟しており、クオリティを保っています。店先に掲げてある黄色いプレートが目印です。

おすすめの都市③フランスの楽園、ニース



フランスの南に位置し、地中海に面したコートダジュール地方の中心都市です。

パリの空港からニース・コート・ダジュール空港まで飛行機で約1時間30分。高速列車TGVではパリから約6時間かかります。

夏のバカンスシーズンになると、パリをはじめヨーロッパ各地から旅行者が押し寄せるほど。パリとは違い、**温暖な気候が続くのも人気の理由の1つ**。

1. 地中海、プロムナード・デ・ザング



ニースと言えば、「ニースブルー」と呼ばれる青く美しい地中海が有名で、その景色は圧巻です。また、海岸線に沿って整備されたプロムナード・デ・ザングレという遊歩道もおすすめ。散歩やサイクリング、ビーチでのんびりするなど、海で泳ぐだけでなくさまざまな楽しみ方があるのも魅力。サンセットを眺めながら散歩するのもロマンチックな雰囲気最高です。

2.ニース旧市街



曲がりくねった石畳の細い道が多い街並みは、ところどころに歴史的建造物があり、古き良き中世の下町の面影を感じられます。たくさんのレストランやカフェ、ショップがありショッピングにもおすすめ。

ニース旧市街にあるマルシェ・クール・サレヤは、フランスで最も美しいマルシェの1つとされています。広場は大きく、また野菜や果物だけでなく、花やプロカントのマルシェを開催する日もあり、見ているだけでも楽しめます。

おすすめ都市③絵本の世界、ストラスブール



ストラスブールはフランスの東部、ドイツの国境沿いにあるアルザス地方にあり、交通の要衝として栄えてきました。TGVを使えばパリから約2時間で行けるので、日帰りも可能です。

クリスマスマーケットで有名な街や木組みの家が立ち並ぶ様子はまるで絵本を切り取ったかのようにかわいらしく見どころ満載です。

1. プティット・フランス

ストラスブールを流れるイル川が4つに分かれている地帯全体を指します。

ドイツ様式の家の外壁部分に木の骨組みが見られる独特な景観が魅力のスポット。ストラスブールと言えば、この建築群と言われており観光客に大人気です。

このエリアには美味しいレストランやカフェもあり、歴史を感じながらのんびりと散策を楽しむのはいかがでしょうか。

2. クレベール広場

ストラスブール中心部にある広場で、近くに美しいゴシック建築のストラスブール大聖堂やプチット・フランスがあるので一緒に観光するのがおすすめです。

毎年、世界最大級のクリスマスマーケットが開催されることでも有名。広場全体が華やかなイルミネーションで彩られ、大きなクリスマスツリーが設置されます。また、地元の食べ物や工芸品を楽しむことができるのも魅力です。

12月に行く際はぜひ足を運んでみてください。

気になるフランス旅行の費用



さて、ここまで読んできてフランスに行きたくっているのではないのでしょうか。

そこで気になるのは費用ですね。
最後に、旅費についてご紹介します。

シーズンにもよりますが、1週間の旅行の場合、1人あたり約40万円以上は見積もっておいた方がよいでしょう。

1.航空券

エコミークラスの場合、東京からパリへの直行便は20万円以上の予算が必要です。直行便は片道約15時間で、航空会社はエールフランス航空や日本航空です。

乗り継ぎをする場合は、約15万円から購入できますが、片道20時間以上になることもあるので注意しましょう。

2.ホテル代

ホテルのグレードや日程によって大きく異なりますが、コンパクトな3つ星ホテル程度なら1名1泊あたり約

15,000円と考えておくと安心です。

3.現地の観光費用

観光地や美術館の入場料は、無料～5,000円程度のところまでさまざまです。

入場料を事前に調べておくのがおすすめです。

また、フランスの外食費は高いです。1食2,000円程度はかかると考えておきましょう。

スーパーやパン屋さんで調達するのもいいですね。

このほか、交通費や保険代など人によってかかるお金は違います。

知らない土地でトラブルが起きる可能性もあります。ある程度、目安を知って余裕をもたせておきましょう。

まとめ

パリはもちろん、他の都市も魅力たっぷりのフランス。

日本とは違う景色や食事もできて、非日常を感じられます。

旅行をするにあたって1つ注意点があります。

フランスではストライキやデモが日常茶飯事です。その影響で、電車が動かないことや施設・お店が閉まることもよく起こります。せっかく、スケジュールを立てて行動しようとしても、思い通りにならないことも覚えていてください。

それも旅行のうちだとおおらかに考えましょう。プランを変更したことにより、想像していなかった素敵な出会いがあるかもしれません。

初めての海外旅行であったり、ヨーロッパに慣れていなくて不安な方は、**旅行会社のツアーを申し込むのもおすすめです。**

航空券とホテル代、主要な観光地がパッケージングされたものなら安心ですね。何かトラブルが起きたときも日本の会社に相談できます。旅行にかかる費用もあらかじめ把握しやすいのも嬉しいポイント。

フランスは直行便でも半日はかかるため、なかなか気軽には行けないですね。

人生で何回行けるかわからないほどです。

もし今、時間があってフランスに行きたいと考えているならば旅行してみてもいいかもしれません。また、コロナ禍のときのようなことが起きて、自由に海外旅行できなくなることがあるかもしれません。

一生の思い出に残る素敵な旅にしてくださいね！

参考

- ・JTB「パリで行きたい人気観光スポット！現地スタッフおすすめ」更新日2024年6月20日
- ・Skyticket「フランス第2の都市・リヨンのおすすめ観光スポット14選！」更新日2024年9月11日
- ・Travelwith「パリ以外にも魅力がいっぱい！フランスのおすすめ都市5選！」2021年6月14日

- ・JTB「【フランス・ニース観光】おすすめスポット10選！南仏旅行を満喫」更新日2024年7月26日
- ・ニュート「ストラスブールで絶対行きたいおすすめ観光地10選！名所やモデルコースも」2024年9月16日
- ・JTB「フランスの旅行費用っていくらかかる？1週間の予算も解説」2024年7月11日